

◇ 行事報告 ◇

6月18日（木）摩利支天月例祭

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら、本堂で式典を執行させて頂きました。

法話では、水無月とは農作業が『「皆尽き」た。』というのが語源という説があります。夏至から数えて11日目あたりが半夏生となり、だいたい7月2日頃です。この翌日から5日間は水が毒を含むので、井戸水



は使わないようにする習いがあったそうです。ある意味「水」を休ませたのではないかと思われます。5日目（7日）の夕方から棚を作り、旗を立てて準備をし、翌日には一番綺麗な水を汲んで（朝露を取ったりもしたようです）祈願を短冊に書いて飾りました。これが棚機の始まりです。七の夕と書いても「たなばた」と読むのはここか

来ております。

この棚が精霊棚となり、お盆の始まりとなります。

上は7月がお盆月となります。岡山などでは旧暦でお盆の棚経をおこなう習慣です。

年の後半はご先祖の供養や感謝を捧げる事が大切になって参ります。

とのお話でした。



仏壇の掃除をしてご先祖をお迎えする準備を整えて下さい。まだまだ新型コロナウイルスの事でイライラすることもあると思いますが、まずは笑顔で日々過されて、諸仏諸天・ご先祖様に感謝申し上げるようになりたいですね。

## ◇ 行事案内 ◇

### 摩利支天月例祭

8月からは定例通り8月18日(火)、9月18日(金)午前10時より執行いたします。当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

### 施餓鬼会

**9月20日(日)午後1時より**執り行います。

お施餓鬼のご案内を同封させていただきますので、棚経の折か8月20日までにご返信頂ければと思います。詳しくは案内文をご確認下さい。当日は、脇本歯科の駐車場が使用可能です。境内の駐車場と合わせてご利用下さい。

また、当山総代世話人会及び組寺会の話し合いで、施餓鬼会は今年度より「彼岸の入りの日」ではなく、「**9月20日**」の固定日となりました。組寺の各寺院も固定日にて法要を行うこととなりましたので、宜しくお願い致します。

## ◇ お願い ◇

最上稲荷総本山より「最上稲荷ケーブルカーの古写真募集」の協力依頼がありました。チラシを同封いたしますので、ご協力、ご賛同頂ける方は、応募用紙をご記入の上、直接、最上稲荷へお申込みいただくか、当山へご持参ください。

## ◇ 近況 ◇

岡山県修法師会も呼びかけにより、6月8日午後3時に岡山県内寺院が同日同時刻に新型コロナ終息祈願の読経を行い、当山も参加させていただきました。

また、平成30年7月に発生した西日本豪雨災害から丸2年が過ぎましたが、今年も修法師会により倉敷市真備町で供養会が行われました。当山でも7月6日の夕勤にて塔婆供養をいたしました。

今年も水害が多く、つい先日、小田川氾濫警戒情報が発令されたり、九州、岐阜県などにおいては豪雨災害が起こったりしています。今一度、ご家族で災害時の対応を話し合ったり、持ち出し用品の確認をしたりしてはいかがでしょうか。新型コロナウイルスにも備える必要があります。皆様、引き続き、手洗い・うがいを励行して、お体ご自愛のうえお過ごし下さい。

合 掌

